

アレルギー性結膜炎について

アレルギー性結膜炎とは、目の表面に花粉やダニ・ほこりなどのアレルゲン（アレルギー反応を引き起こす物質）が付着して、結膜に炎症を起こす病気です。

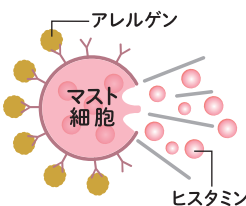
アレルギー性結膜炎
患者数
全国約 **2,000** 万人
その大半は
花粉症です

アレルギー症状を引き起こす **メカニズム** ※イメージ図

① 空気中に浮遊する花粉（アレルゲン）が目に侵入



② アレルゲンが目の粘膜内、マスト細胞にくっつくときヒスタミンが放出



③ 放出されたヒスタミンなどの物質が目の神経や血管を刺激してアレルギー症状が起きる



アレルギー性結膜炎の症状

●目の痒み ●目やにがでる ●目の異物感 ●目の充血 など、さまざまな症状を引き起こします。

アレルギー性結膜炎の種類・原因

☑ 「季節性アレルギー性結膜炎」

1年の特定の時期だけに、ある決まった植物の花粉が原因となって発症します。日本では2月～5月に多く飛散するスギやヒノキの花粉が主な原因です。アレルギー性結膜炎の患者さんの大半は花粉症によるものであると推測されています。

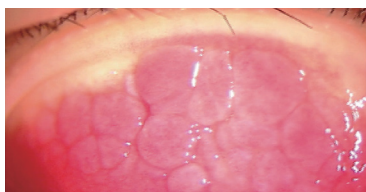
☑ 「通年性アレルギー性結膜炎」

1年を通して存在する、ダニやカビなどが原因となって発症します。

☑ 10代の男子に多い「春季カタル」

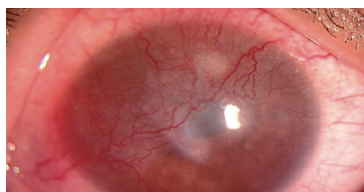
アレルギー性結膜炎の一種で、症状が強く、とくに春から夏にかけて悪化しやすいことから「春季カタル」と呼びます。アレルギーを起こす原因物質としては、ハウスダスト、花粉などが代表的です。角膜びらんや血管侵入による角膜混濁など重篤な角膜障害を引き起こすことが多く、視力障害を残すこともまれではないため治療がとても大切になります。

春季カタルの症例



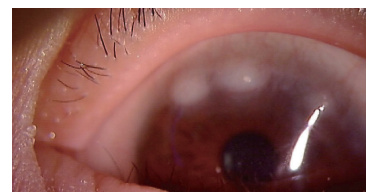
石垣状乳頭

春季カタルの増悪時に見られる石垣状乳頭増殖



角膜混濁

角膜に血管侵入がおり、角膜混濁をきたした状態



トランタス斑

好酸球が輪部に集まり炎症と浮腫を越したトランタス斑

目のかゆみなどの炎症を抑える治療

● 抗アレルギー点眼薬

治療の基本は、抗アレルギー点眼薬で軽症からコントロールをしていきます。抗アレルギー剤はマスト細胞が物質を出さないように抑制するための薬です。そのため、アレルギーの症状が始まる前から使うとより効果的です。

● ステロイド点眼薬

炎症が強い場合にはステロイド点眼や免疫抑制薬を必要とする場合もあります。速やかな消炎は、感染のリスクを最小限にするなどメリットも大きく、角膜を守る為には症状に合わせて組み合わせることも重要です。

日常生活でできる 花粉対策

花粉やハウスダストは日常生活に少し気を付けることが症状の緩和に大きく役立ちます。特に、寝室やリビングなど長時間過ごす部屋の対策は重要です。

- 外出時は、マスク・メガネを着用する
- 帰宅時は、玄関に入る前に衣類や髪についた花粉を落とす
- 洗濯物は室内干し、外に干す場合には花粉をしっかりと払い落としてから取り込む



花粉症だけではなく、「ドライアイ」の可能性もあります！

ドライアイとアレルギー性結膜炎の関係

ドライアイと花粉症は似たような目の症状を示し、ふたつの病気が合併していることもあります。アレルギー性結膜炎により、涙の質を悪化させることでドライアイが悪化することもよく見られます。ドライアイとアレルギー性結膜炎は相互に作用し、悪循環に陥ります。コンタクトユーザーにアレルギー性結膜炎がある場合、角膜に傷がつきやすく、角膜感染症のリスクは高くなるのでより注意が必要です。



次号の
お知らせ

年々、患者数も増加傾向にある「ドライアイ」について特集します！

SNS
更新中



院内の活動などについて掲載しています。
@kyoseikai.eye.doctor で検索、フォローお願いします！



院内の活動や目の病気などについて掲載しています。
@kyoseikai で検索、フォローお願いします！

LINE 公式アカウント

QRコードから
お友達登録をお願いします

いくの眼科
十三本院



いくの眼科
武庫之荘院



医療法人恭青会
<https://kyoseikai.com/>



いくの眼科 十三本院と武庫之荘院と管理部の3拠点から構成されています。

いくの眼科
<https://kyoseikai.com/ikuno-eye/>
TEL.06-6309-4930

いくの眼科 武庫之荘院
<https://kyoseikai.com/mukonosou/>
TEL.06-6423-8871